

<研究名称>

遊離核酸を用いた膵腫瘍の低侵襲診断

<研究申請者>

消化器内科 藤井 常志

<研究期間>

倫理委員会承認日から 2022 年 3 月 31 日

<研究の目的・意義>

がんの確定診断は組織生検（病理診断）をゴールドスタンダードとするが、最近はこれに種々の遺伝子解析が加えられ、診断は組織・細胞レベルから分子・遺伝子レベルと範囲を広げている。本研究では、遺伝子解析技術とゲノム科学、生物情報科学を駆使し、侵襲の少ない方法で採取可能な血液や十二指腸液などの生体試料を用いたがん診断並びにリスク評価法の確立を目指す。がん細胞に特有な体細胞変異や分泌小胞を高感度に検出・定量できれば、これまでに早期発見が不可能であった難治がん克服の手がかりを得られる。このような試みは、治療薬の選択と効果のモニタリング、予後予測などの局面に限定される。「がんクリニカルシーケンス」への領域を超早期診断やがん高危険群を対象とした左`米ランスへと拡大し、がん診断の飛躍的進歩をもたらすことが期待される。

<実施内容（方法）、危険性（副作用）等>

外科手術を受ける膵腫瘍患者 100 名程度、膵嚢胞、慢性膵炎等の膵発がんリスクを有し経過観察を要する患者 200 名程度、また、胆石症等の両性疾患で内視鏡検査を受ける非たん癌患者 50 名程度を対象とし、内視鏡検査の際に採取する十二指腸液及び血液より遊離核酸を精製・定量する。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 消化器内科 部長 藤井 常志

協力者 消化器内科 副部長 杉山 祥晃

消化器内科 医師 斉藤 敦

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし

<IC のための説明・同意に関すること>

同意説明文書あり

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 消化器内科 藤井 常志

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648